

日時：2015 年 1 月 10 日(土) 14 時 23 分～15 時 15 分

場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東 1 丁目 1-1）

ローム記念館 5F 大会議室

出席者数：108 名

- ・互選により雨宮慶幸会員を議長に選出した。
- ・議事に先立ち、高原淳会長と土肥義治 JASRI 理事長より挨拶があった。

#### 議題

原田庶務幹事より 1～5 について報告があった。

#### 1. 第 4 回評議員選挙の結果報告

資料に基づき報告があった。産業候補者の不信任票が多かったのは選挙方法が変わったためであると考えている。産業候補者について、産業界の希望として候補者は信任投票が良い。分野のバランスを考慮して信任投票となる数の候補者を挙げるができるように進めていきたいと説明があった。

#### 2. SPring-8 シンポジウム 2014 開催報告および SPring-8 シンポジウム 2015 開催について

資料に基づき報告があった。

#### 3. 分野融合型研究グループの発足について

資料に基づき報告があった。分野融合型研究グループの概要等について説明があり、ナノデバイス科学、分子機能性材料研究グループが立ち上がったとの報告があった。

#### 4. 分野融合型研究ワークショップ開催について

資料に基づき、分野融合型研究ワークショップの開催とそのプログラム概要について説明があった。

#### 5. 各幹事報告

資料に基づき、研究会開催状況、シンポジウム 2014 決算および SPRUC 予算執行状況について報告があった。SPRUC 予算について今年度は利用懇練越金の取り崩し額が多く、今後、研究会旅費は分野融合に資する利用等に重点化していきたいとの説明があった。

#### 6. 施設報告

資料に基づき、野田 JASRI 常務理事より、SPring-8 の利用状況、新利用制度および利用研究成果について説明があった。

#### 7. その他

以下の意見交換があった。

- ・産業利用課題について新利用制度に至った経緯について質問があり、施設側より学術研究者だけで申請している課題数が増え、採択される課題数も無視できない数になってきたためと説明があった。
- ・成果公開について、課題終了後 3 年以内に成果公開するルールのために、締切が迫るとジャーナルを選ばず論文を出してしまうことがあるが、猶予を得ることはできるのかという質問に対し、施設側より、正当な理由を JASRI が承認した場合は猶予を与えているとの説明があった。
- ・坂田誠会員よりこの成果公開制度を検討した立場として以下のコメントがあった。成果公開の延長は正当な理由があれば認めている。制度を整備した当初は、成果公開について政府、国民への説明が不十分であるという認識があり、すべての利用の成果がどのようになったかを完全に見える形に

した。この制度を研究者の常識とうまくマッチングさせていただきたい。外国の大型施設と比較して論文数は依然として少ないため、うまくマッチングさせないと日本国内での競争力を失ってしまう恐れがあるのでご理解いただきたい。

- 選挙方法について、○だけでなく×も付けるようにすれば良いのではないか。記入をせずに間違えた票が多かったのではないか。
- 台湾放射光から代表機関に入りたいという希望があるとのことで、代表機関に入ることについて賛同が得られた。

以上。